
死にたい、でも死ねない

玲風

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死にたい、でも死ねない

【Nコード】

N9718A

【作者名】

玲風

【あらすじ】

俺は死にたいんだ。でも、死ねないんだ。頭に響く声が俺を邪魔するんだ。

(前書き)

ホラーって感じしませんかご了承ください。

今、俺は高層ビルの屋上にいる。恋人を失って、死のうと思ってからもう一時間も経った。ここから落ちれば死ねるのに、とてつもなく怖い。『死』が怖い訳じゃない。誰にも、悲しんでもらえないのが怖い。

——早く飛び降りちゃいなよ。

どこからともなく聞こえる声。不思議だけど、俺の頭は疑問を感じない。

——早く飛び降りようよ。楽に死ねるよ。死んだら楽だよ。

その声はだんだん激しくなっていく。俺は洗脳されたように柵に足をかけた。でも、やっぱり迷ってしまう。

——早くおいでよ。

俺は、そのまま飛び降りようとしたが……怖い。

ドンッ

俺は気付いたらどんどん落ちている。声も俺の近くで聞こえる。

——あたしと同じような気持ちを味わって。君のせいで死んだんだから。

俺は、ハッと気付いた。声の主は俺の恋人だったんだって。俺に会いに来る途中に事故にあった彼女。だから、俺を恨んでる——？俺を殺したい？ゴメン。俺たちは出会わなければよかった。会わなければ彼女は死ぬことなんてなかった。

そして俺は地面に叩きつけられた。やっと死ねるんだ。俺はそのとき静かに泣いていた。

目を開けると白い部屋。ここは？死後の世界？

——違うよ。ここは病院だよ。

病院？何で？あんな高いところから落ちたのに生きてるのか？

——君をあたしが助けたんだよ。

助けたって…

——痛いでしょ。辛いでしょ？あたしも痛かったんだよ。同じ気持ち味わってっていったでしょ。

そうか、俺を殺したいじゃなくて痛めつけたいんだ。痛い思いをして苦しめてことなんだ。ゴメン。そんなことしか言えない自分がたまらなく嫌だった。落ちた時泣いたのも、自分の為なんだ。でも、もう、痛みはわかったんだ。

——君はもう死ねないよ。

頭に響く声はずっと無くなった。

それから俺はまた死にたいという衝動にかられていた。今度は迷いなんか無かった。

ヒョイっと柵を超え、死の世界に直進—。

目覚めるとまた白い部屋。ということはまだ病院。

——言ったはずだよ。君はもう死ねないって。

俺は今も彼女に悩まされている。何故か急に死にたくなって飛び降りる。でも、俺は死ねない。俺の身体に激痛を残して、まだ生きる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9718a/>

死にたい、でも死ねない

2010年10月11日00時27分発行